

27 5 1

平成27(2015)年5月1日発行
広報あつぎ 第1206号

ネットは
www.city.atsugi.kanagawa.jp

広報 

あつぎ

5月はあつぎ子ども月間



家族と触れ合う時間を大切にしましょう。3面で市の子育て支援サービスを紹介。

編集・発行/厚木市政策部広報戦略課
〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17
TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951

春風に誘われ 舞い泳げ こいのぼり



《アクセス》
厚木バスセンター9番乗り場から「森の里行」(厚44系統)に乗車、「温水児童館前」下車すぐ。
※駐車場はありません

南毛利地区鯉のぼりまつり(5月10日まで)

第27回 森の里鯉のぼりまつり

5月5日まで250匹のこいのぼりを飾ります。3日(10時～)は音楽やゲームなどのイベントを開催。

場所 若宮公園(森の里1-38-39)

アクセス 厚木バスセンター9番乗り場から「森の里行」(厚43・45系統)に乗車。「若宮橋」下車すぐ。駐車場(約20台)あり。
問森の里公民館 ☎250-5262



こいのぼりを飾り付けた皆さん

暖かな陽気に吹く優しい風に、舞い上がるたくさんのコイたち。空や川面を鮮やかに彩る姿が、道行く人の目を惹きつけています。こいのぼりを温水の地藏橋付近に飾ったのは「恩曾川をきれいにする会」(会員数140人)の皆さんです。地域の方々から約200匹ものこいのぼりが集まりました。小瀬村泰久会長(75・温水)は「この場所は『親水広場』や『健康・交流のみち』として整備され、子どもたちに見てもらうのに絶好の場所。多くの人に楽しんでもらいたい」とほほ笑みます。イベントは5月10日まで。家族そろって出掛けてみてはいかがですか。
問南毛利公民館 ☎248-4309

目次 こちらから	2面 環境基本計画などを改定 地球温暖化の防止やごみの減量、生態系の保護などに向けた計画を策定し、市民協働で取り組みます。	3面 子育てコンシェルジュに相談を 安心して楽しく子育てができるよう、市が実施する支援サービスをお知らせします。	4・5面 最高峰の舞台へ 競技と仕事の二足のわらじを履きながらも、日本の頂点を目指して奮闘する二人の挑戦者を紹介します。	6・7面 タウンガイド 催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。
-------------	--	---	---	---



七沢の棚田。所有者の手により現在も里地里山が守られている

自然と共生するまちをみんなの手で 環境基本計画などを改定

トピック

環境

地球温暖化の進行や東日本大震災によるエネルギー問題など、地域環境は刻々と変化しています。市ではこのような状況に対応するため、環境に関わる計画を改定し、市民の皆さんと力を合わせて保全活動を進めていきます。

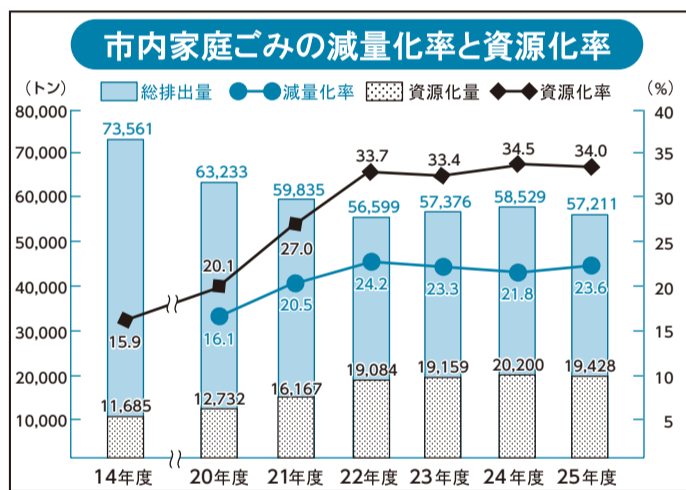
環境基本計画は、美しい自然や地球環境を守るための設計図です。市では新たに、27年度から32年度までの課題に対応した計画を策定しました。

計画では、①地球温暖化の防止とごみの減量・分別②自然環境や生物の保全③緑化促進とごみ・落書きのないまちづくり④市民協働による環境保全などを目指し、市内の環境全体を考えた方向性を示しています。具体的な実施方法は個別に定めます。

「もったいない」ごみ減量

市内のごみ処理などは、一般廃棄物処理基本計画に沿って取り組んでいます。分別と資源化は市民の皆さんに付き、家庭ごみの資源化率（総排出量のうち資源の割合）は大きく上昇しましたが、減量化率（14年度から減った割合）は伸び悩んでいる状況です（右下グラフ参照）。

燃えるごみの中には、未開封の肉や野菜、菓子など手付かずの食品が約1割に及んでいます。資源として出すべき「雑がみ」（トイレットペーパーの芯、封筒など）や「プラスチック製容器包装」「せん定枝」も多く含まれています。



市では課題の解決に向けて4月に計画を改定し、32年度の家庭ごみの資源化率を40%、減量化率を30%とする目標値を設定しました。

市ごみ対策協議会の三橋敬司（みつはし）ごみ減量推進部長（68）は「1人1日卵1個分の手付かずの食品を減量し、分別方法を見直せば目標を達成できる」と呼び掛けます。一人一人が日頃から「もったいない」の意識を持ち、さらなる減量に努めましょう。

里地里山を守る

厚木市は丹沢山系の豊かな自然環境に恵まれています。長い歴史の中で形成された里地里山は、動植物の生息の場になるだけでなく、人々に自然体験の場を提供し、地球温暖化を防止するなどの重要な役割を担っています。

しかし、近年は耕作の放棄や荒廃が進み、希少生物の生息も危ぶまれています。市では現状を改善しようと、3月に里地里山保全等促進計画を策定。重点地域は、自然と集落が一体となった荻野・小鮎・玉川地域です。

市内には、里地里山を管理する担い手が不足している土地がある一方で、

ひとまち元気



相川中の生徒たちと

厚木市長 小林常良

緑色の大きな旗を持ち、相川中の生徒たちが市役所を訪れてくれました。相川中は3月、環境教育の国際認証「グリーンフラッグ」を、国内の中学校で初めて取得しました。グリーンフラッグは、環境活動を通

じて子どもの自主性や地域の絆を育む教育プログラム「エコスクール」に取り組む学校のうち、基準を満たした学校に与えられます。国内の認証校8校の中には、市内3小学校（緑ヶ丘、戸田、相川）も含まれ、相川中と合わせて半数を厚木市の学校が占めています。市役所を訪問してくれた相川中の生徒たちは、取り組みの内容や苦労したことなどを報告してくれたほか、活動を広げるために自分たちで制作した歌も披露してくれました。エコスクールの取り組みは、環境への理解が深まるだけでなく、社会に出た時に必要な、課題に取り組みむ力も身に付きます。ぜひ学校の伝統にしてほしいと思います。自らの意思で活動を始め、学校全体に広げたことはとても素晴らしいことです。誇らしい厚木の子どもたちに、心からの感謝とエールをお送りします。

地球温暖化を防止

市では、公民館や学校などの公共施設に太陽光発電システムの設置を進めています。3月には電気自動車（EV）の急速充電器（有料）を文化会館や公民館（依知北・依知南・睦合西・相川）

守ろうと活動するボランティア団体も多くあります。市では、このような土地所有者と団体の結び付けに取り組みしていきます。活動団体には交付金を交付し、資金を支援します。

4月に認定された「七沢里山づくりの会」の福澤義隆会長（72）は「市街地に住む市民の方も、七沢の自然に触れると喜んでくれる。多くの方に田植えや稲刈りなどの里山体験を楽しんでほしい」と意気込みます。市では、団体が企画する体験講座や収穫祭などの行事に、市民や企業の皆さんの参加を促し、長期にわたって里地里山を保全できるよう支援していきます。

里山保全ボランティア募集

地域の皆さんと一緒に田植えや稲刈り、棚田の保全などをしていただく方を募集します。

《活動日》月1回（1年間）
《場所》①七沢地区②荻野地区
《対象》市内在住の勤労者の方
☎電話またはファクスに〒住所、氏名、電話番号、希望場所を書き、5月20日までに環境政策課 ☎225-2746・FAX 223-1668へ。 ☎公募① 152009②152010

に設置しました。環境に配慮した住宅には補助金を交付し、太陽光発電システムや太陽熱利用システム、エネルギー管理システム（HEMS）、蓄電システムなどの設置を後押ししています。良好な環境を保つには、市民の皆さんの協力が欠かせません。一人一人が環境について考え、イベントや保全活動に積極的に参加し、地域全体で環境に優しいまちづくりを進めましょう。

☎環境政策課 ☎225-2749

トピック 子育て

悩みに寄り添い支援サービスを紹介

子育てでコンシェルジュに相談を

子育て環境日本一を目指し、市では気軽に相談できる体制づくりや経済的・時間的負担の軽減など、子育て世帯に寄り添った支援サービスを提供しています。市の支援を活用し、安心して楽しく子育てしましょう。

「どんな支援サービスがあるかわからない」「身近に相談に乗ってくれる人がいない」。そんな悩みを抱えている人もいるのではないでしょうか。

市には、子育てに関する悩みの相談役「厚木市子育てコンシェルジュ」(AKC)がいます。子育て支援センター「もみじの手」(アミューあつぎ8階)や児童館などで活動し、地域の身近なアドバイザーとして69人が活躍。市のサービス案内や悩み相談など、子育て



まつかけ台児童館を訪れた親子と談笑する福添さん(左)

市の子育て支援サービス

- 子育て支援センター「もみじの手」**
遊具や絵本などをそろえた子育てサロン。保育士などによる子育て相談や、親同士の交流・情報交換の場にもなる。
 - 移動子育てサロン**
児童館などを保育士が巡回して、子育て相談を実施。
 - こんにちは赤ちゃん訪問**
新生児訪問をしていない生後4カ月の乳児がいる家庭に、保育士などが訪問。子育て相談やサービスの情報提供を実施。
 - ほっとタイムサポーター(有料)**
妊産婦がいる家庭にサポーターを派遣し、育児(沐浴、授乳など)や家事を支援。
 - ファミリー・サポート・センター(有料)**
生後3カ月～小学6年生の子どもがいる世帯を対象に、会員が育児を支援。
 - 子ども医療費助成**
0歳～中学3年生の医療費を助成。
 - 紙おむつなどの支給**
第2子以降の子どもがいる世帯に支給。
- 詳しくは、こども育成課や子育て支援センターなどにある子育て支援ガイド「おおきくなあ〜れ」をご覧ください。
- ☎子育て支援センター☎225-2922(●印)
☎こども家庭課☎225-2230(■印)

世帯を幅広くサポートしています。

何でも気軽に相談を

AKCは、保育士や保健師の有資格者他、子育てボランティアの活動経験がある方たちです。市が実施する研修を修了していますので、子育てに精通しているだけでなく、各家庭に合った適切なサービスを案内できます。

AKCとして活動する福添浩美さん(55・下荻野)は「市の豊富なサービスを活用しきれいていない家庭が多い」と話します。「最近では『子どものしつけ方が分からない』と悩む人も少なくありません。相談に応じた後、笑顔で家庭に戻ってくれた時は本当にうれし

い」とほほ笑みます。AKCは親身になって子育て世帯に寄り添います。いつでも気軽に相談してください。

さまざまな支援を有効に

市では子育て相談の他、一時的な託児支援や子どもの医療費助成、紙おむつの支給なども実施しています(左表参照)。さらに、深刻な悩みにも対応できるよう4月に家庭相談課を新設しました(左下欄参照)。

5月は、子どもの未来を考える「あつぎ子ども月間」です。市の子育て支援サービスをもう一度確認し、地域で楽しく子育てしましょう。

☎こども育成課☎225-2262

家庭相談課を新設

相談員が、児童虐待に関する相談・通報や、配偶者などによる暴力(DV)の相談に応じます。大きな問題につながる前にご相談ください。

- 時間** 9時～12時、13時～17時(土・日曜、祝日を除く)
- 内容** 児童虐待の相談・通報DVの相談



☎家庭相談課☎225-2244

あつぎ家庭の日

毎月第3水曜日は「あつぎ家庭の日」です。家族みんなで一緒に過ごし、絆を深めましょう。

- ◆一日の出来事などをゆっくり話しましょう
- ◆一緒に食事をしましょう
- ◆一緒に本を読みましょう
- ◆地域活動に参加しましょう
- ◆スポーツや文化に親しみましょう
- ◆自然に親しみましょう



☎こども育成課☎225-2262

平成27年度 市民参加手続きの予定

予定されている市民参加手続きの一覧です。それぞれの詳しい情報は、今後の広報あつぎや市ホームページでお知らせします。

☎広報戦略課☎225-2043

☎=審議会 ☉=意見交換会 ☎=意向調査 ☎=パブリックコメント

	対象行為	市民参加の内容・予定
条例の制定・改正	(仮称)行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の制定	☉5月 ☎6月
	施設使用料見直しに伴う条例の改正	☎6月
	個人情報保護条例の改正	☉5月 ☎6月
	印鑑条例の改正	☉7月 ☎6月 ☎9月
	斎場条例及び斎場条例施行規則の改正	☉5月 ☎5月 ☎10月
	子ども科学館条例施行規則の改正	☎5月 ☎7月
	排水施設構造等基準の改正	☎8月
基本構想計画、重要政策	雨水浸透施設設置基準の改正	☎11月
	第2次健康食育あつぎプランの策定	☎5月～ ☉6月 ☎12月
	地域防災計画の改定	☎6月
	緑の基本計画の改定	☎7月～ ☉平成28年2月 ☎平成28年8月
	(仮称)公共下水道事業地方公営企業法適用基本計画の策定	☎10月 ☎8月 ☎11月
学校給食施設整備方針の策定	☉8月 ☎8月 ☎10月	



厚木から羽ばたく挑戦者

最高峰の舞台へ

CHALLENGERS

プロボクサー
岨野 豊
(32)

待ち望んだ日本チャンピオンへの挑戦権を得た男は、ボクシング人生を懸けたタイトルマッチに挑んだ。ひた回りに強さを追い求めてきたボクサーが胸に抱く思いとは。

厚木を飛び出し、日本最高峰の舞台で戦う競技者がいる。メジャーとはいえないスポーツでは、勝負だけに打ち込める環境は整っていない。仕事と二足のわらじを履きながらも夢を追い求め、日本一を目指す挑戦者を取材した。



オフロードバイクレース
石戸谷 蓮
(23)

己の細やかな感覚をマシンに伝え、野山を突き進むオフロードバイクレース。厚木の地で自信と経験、バイク愛を培った若きライダーは今、日本の頂点に立とうとしている。



終盤の3ラウンドは王者からポイントを奪い追いつめた



「BONSAIMOTO」では多川さんとバイクの整備も行方

弾ける打撃音、飛び散る汗、交錯する拳、腹の底まで響く観客の歓声。3月26日、後楽園ホール。この日のメインイベント、ボクシング日本ミニマム級タイトルマッチは、最終第10ラウンドを迎えていた。挑戦者が王者をロープ際に追い詰めたその時、ホールの熱気は最高潮に達した。最後のゴングが鳴り、告げられた判定は0-3。チャンピオンの座を逃した岨野豊選手は、リングの上でしばらく一点を見つめていた。

階級屈指のハードパンチャー
岨野選手は、最軽量のミニマム級（47・627以下）では破格のパンチ力とKO率を誇るボクサーだ。ボクシングへの姿勢は「T&Tボクシングだけだね」。所属する「T&Tボクシング・スポーツジム」（旭町）のオーナーで、トレーナーを務める本木洋一さん（46）はそう評する。

プロになったのは25歳と遅い。大学卒業後にサラリーマンとなるが、もっと広い世界を見て生きていこうと1年

振りかざされたフラッグを合図に、無数のオフロードバイクが荒地に飛び出す。エンジンをうるならせ、急勾配の山道や川の中を疾走する。悪路に立ち往生するバイクも珍しくない。ライダーは、ぎりぎりの走行ラインを直感で判断し攻め続ける。

国内最高峰のオフロードバイクレース（全日本クロスカントリ選手権（JNCC））。参戦する石戸谷蓮選手は、厚木が生み出したライダーだ。「バイクに乗っている時間が楽しくて仕方ない」と爽やかに話す期待の新鋭は、年間チャンピオンを狙っている。

日本のトップが集う舞台で
JNCCは、山野や河川敷に設けられたコースを走り、3時間以内の周回数を競うバイクレースだ。500人も選手が出場し、全8戦の合計ポイントでチャンピオンの座を争う。

昨年は3位に終わった。「雨などの特異な環境にうまく対応できなかった」と悔しさをにじませる。ことは筋力と山道を自転車で走る練習で鍛えてきた。大会への同行スタッフを確保し、遠征による体への負担も軽減した。さらに、受けてきたタイヤ供給サポートを解除し、タイヤ選択の幅を広げるなど、態勢を整え戦いに挑んでいる。

大変さより走る楽しさ
石戸谷選手がバイクに乗り出したのは3歳の時。バイク好きの父の影響で始め、猿ヶ島の河川敷を走っていた。運転免許の取得前は、自宅のあった三田から重さ100キロに及ぶバイクを押しながら通った。「ふがいない走りしていると父によく怒られた」と懐かしむ。

現在は、市内で鍼灸あん摩マッサージ師として働く傍ら、競技生活を送る。レースへの参戦には、年間250万円

苦しい減量の先に
多くのボクサーと同様、ファイトマネーだけで生活はできない。空いた時間には、生活費の足しに運送の仕事をお願いする。引退後は柔道整復師になるうと、昼間は専門学校にも通う。トレーニングは朝晩に集中的にこなす。

試合が決まれば減量が始まる。2カ月ほどで10キロ以上を落とすのは簡単ではない。それまでリングに上がり続けるのには理由がある。「地道な減量やトレーニングに孤独を感じることもある。年齢の割に収入は少ない。でも、大舞台で戦う高揚感や充実感他では得られない」

再起への決意
日本ランキング1位で迎えたことし1月、タイトルマッチが決まった。掲げたキャッチフレーズは「厚木から世界を狙う」。ジムを挙げた闘闘態勢の下、本木さんと街の商店などにボスターの掲示や応援の依頼に回った。決



患者を丁寧に施術する石戸谷さん

栄光を家族と共に
今シーズンは第1戦で2位、第2戦で優勝と好スタートを切った。石戸谷選手にレーシングスーツやブーツなどを提供し、大会にも同行するバイク・スポーツ用品代理店「BONSAIMOTO」の多川潤さん（45）は「持っている技術は申し分ない。結婚して出てきた落ち着きがレースにも良い影響をもたらしている」と太鼓判を押す。

競技生活を支える大きな存在は、二人目の子を宿している妻と、オフロードバイクに導いてくれた父。競技ができるのも家族の支えがあるから。だからこそ、チャンピオンになった自分の姿を見せたい」と闘志を燃やす若きライダー。戴冠への準備と覚悟はできている。

いしどや・れん
平成3年10月11日生まれ。三田出身。伊勢原市在住。KTM埼玉&スターレーシング所属。マシンはKTM250EXC-F。バイクのライディングスクールも開催できる「IAA2」クラスのライダー。



そのの・ゆたか
昭和57年6月9日生まれ。三重県志摩市出身。愛甲東在住。T&Tボクシング・スポーツジム所属。平成20年デビュー。16戦9勝（6KO）6敗1分。ガードを固めず相手の攻撃をかかわしてカウンターパンチを狙う変則スタイルのボクサー。



ジムでは本木さんを相手にトレーニング

貼り、5月14日までに直接、子育て支援センター☎225-2922へ。5月19日に面接を予定。

市民ふれあいマーケットの出店者を募集

6月7日(雨天時は14日)、10時～14時。厚木中央公園。家庭で不用になった物の販売。市内在住の方130店舗(高校生以下は不可)。出店料500円。往復ハガキに〒住所、参加者全員の氏名、日中に連絡が取れる電話番号、販売品目、返信先、自動車の使用の有無(車種とナンバー)を書き、5月15日(消印有効)までに〒243-8511環境政策課☎225-2749へ。抽選。

特定優良賃貸住宅の空き家入居登録を募集

ファミリー世帯向け家賃補助付き賃貸住宅の空き家入居待機者を募集します。

《入居団地》①パル本厚木(旭町5-42-31)②ステラ本厚木(泉町15-11)③クリア・エスペロスK水引(水引1-12-24)④レグリール(愛甲2-4-20)《入居資格》①同居する親族がいる②所得が一定範囲内など《入居時期》空き家発生時。5月14日から住宅課、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所などで配布する申込書に必要事項を書き、5月28日(消印有効)までに郵送で〒220-0023横浜市西区平沼1-3-13株式会社ジェイエーアメニティーハウス☎045-321-2468へ。住宅課☎225-2330。

プレミアム付き商品券の取扱店を募集

市内の消費拡大や商業活性化を目的としたプレミアム付き商品券「あつぎ元気商品券」の発行に向け、商品券を取り扱う市内の店舗を募集します。厚木商工会議所☎221-2153・商店会連合会☎244-3940。

幼児2人同乗用自転車の購入費を助成

《助成額》購入費の2分の1(限度額1万6000円)《対象》①平成27

年1月1日時点で市内に住民登録がある②6歳未満の幼児を2人以上養育一の全てを満たし講習を受けた方《講習会》6月14・20日=厚木小学校体育館、7月1日=睦合西公民館(及川667)。10時～11時30分(受け付けは9時45分～)。印鑑と室内履きをお持ちください。電話またはファクス、Eメールに〒住所、氏名、電話番号、講習会の日程、参加する子どもの氏名と年齢、人数を書き、5月29日までに暮らし交通安全課☎225-2760・☎221-0260・e-mail=3400@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

保健師・管理栄養士(嘱託員)を募集

《対象》保健師または管理栄養士の資格がある方若干名《業務内容》保健指導・健康相談、健康教育など母子保健や成人保健業務(どちらか一方でも可)《勤務日時》主に平日の9時～13時または13時～17時《勤務場所》保健センターなど《給与(月額)》保健師7300円、管理栄養士6000円《雇用期間》7月1日～平成29年3月31日(更新あり)。市販の履歴書に必要事項を書き、資格証の写しを添えて5月29日(必着)までに直接、健康づくり課☎225-2201へ。書類選考、面接あり。

市立病院の薬剤師を募集

《試験日》6月7日《職種》薬剤師《対象》昭和51年4月2日以降に生まれた方で①薬剤師の免許を有する②平成28年実施薬剤師国家試験で薬剤師免許を取得見込みのいずれかに該当する方2人《採用》平成28年4月1日以降。市立病院や市役所本庁舎、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書(市立病院ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、5月29日(消印有効)までに直接または郵送で〒243-8588水引1-16-36経営管理課☎221-1570へ。書類選考、面接あり。

児童館指導員(臨時職員)を募集

《対象》18歳～65歳の健康で子どもの健全育成に熱意のある方若干名《勤務先》及川・藤塚児童館《勤務内容》児童館を利用する子

あつぎ 元気Wave

ケーブルテレビ
あゆチャンネル(11ch)
放送時間(15分)

5月の広報番組ガイド

5月1日～15日 ◆子育て支援制度を活用しよう
子育て環境日本一を目指す市の支援制度を紹介します

①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容や時間を変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

どもの指導育成、施設管理など《業務時間》月15日程度で10時～17時または13時～17時(通常1人勤務でローテーション)《報酬》時給940円(土・日曜、祝日は1269円)《期間》7月1日～9月30日(更新あり)。市販の履歴書に写真を貼り、6月3日(必着)までに直接または郵送で〒243-0018中町1-1-3厚木シテイプラザ6階青少年課☎225-2581へ。6月11日に面接を予定。

小中学校への就学を支援

援助が必要な世帯や特別支援学級「ことばの教室」に通う子どもがいる世帯に、学用品費などの一部(ことばの教室は交通費のみ)を支給します。詳しくは、学校で配られる案内をご覧ください。年度ごとに申請が必要です。学校教育課☎225-2650。

文化芸術フェイスブック

厚木の文化芸術の専門分野で活躍するボランティア組織がフェイスブックで、音楽、美術、演劇、伝統芸能などの情報を発信しています。「アツギアートプロジェクト」で検索してください。文化生涯学習課☎225-2508。

松川サク工業賞の受賞者

市内の大学・短期大学で工業系の学科を専攻し、今春卒業した5人の学生に「松川サク工業賞」が贈られました。この賞は、相模ゴム工業(株)の創業者で、長年にわたり市の産業発展に尽くされた、名誉市民の故・松川サクさんの遺志による寄付に基づき工業の振興のために設けられたものです。(順不同・敬称略)

《受賞者》澤大地(湘北短期大学)、安田篤文、長谷川翔平(以上、

神奈川工科大学)、秋本紗希、江口博政(以上、東京工芸大学)。産業振興課☎225-2830。

大規模盛土造成地マップが完成

宅地開発などで造成された盛土造成地の位置や規模を示したマップを作成しました。リーフレットは公民館、中央図書館、市政情報コーナーで配布しています。詳しい地図をご覧になりたい方は開発審査課☎225-2440へ。

街頭労働相談会

5月18日、11時～18時。本厚木駅北口。解雇や賃金不払いなどの労働相談と障がい者の就労相談(職業紹介はありません)。県かながわ労働センター県央支所☎296-7311。

宅地建物取引業協会の相談会

5月23日、10時～16時。県宅地建物取引業協会県央支部(水引1-8-22)。専門家による法律や税金、不動産取引の相談。弁護士相談も実施(要予約)。無料。宅地建物取引業協会県央支部☎224-6561。

日本赤十字社の活動費に協力を

日本赤十字社の活動は、皆さんの寄付により運営されています。5月は赤十字社員増強運動月間です。自治会を通じて寄付をお願いしますので、ご協力ください。平成26年度の市内の赤十字社員増強運動社資総額は1708万5633円でした。ご協力ありがとうございました。日本赤十字社神奈川県支部・厚木市地区事務局(福祉総務課内)☎225-2200。

あつぎ健康相談ダイヤル24

さわやか1番 よいこころ
☎0120-31-4156

あつぎの石造物

～しらべ、しるし、つたえる～

厚木の道標、地蔵などの石造物データ、写真、イラストなどを展示します。展示に関連した講演会や見学会も開催します。

《日時》5月10日～6月21日 9時～17時

《会場》郷土資料館

《講演会》13時30分～14時30分

①5月24日「七沢石工と高遠石工」
講師:澤由五十二さん(「七沢石」著者)

②6月7日「石造物とあつぎの石」
講師:門田真人さん(県立生命の星地球博物館外来研究員)

《見学会》「石造物めぐりを楽しむ」

5月31日 9時～(郷土資料館集合)

いずれも無料。当日直接会場へ。

郷土資料館☎225-2515



熊野神社(愛甲)の不動像



春日神社(温水)の道祖神

5月12日 民生委員の日 児童委員の日

民生委員・児童委員は、地域の身近な相談役です。福祉のことでお困りの方は、気軽にご相談ください。地域を担当する委員は、福祉総務課にお問い合わせください。

★活動内容★
高齢者、障がい者、児童に関する相談・援助に取り組みます。ご相談の内容に応じて、福祉制度を紹介したり、関係機関とのパイプ役になったりします。



福祉総務課☎225-2200

編集後記

夢を追う岨野さんと石戸谷さん取材した今回の特集。ぜひ、若い世代にも読んでもらいたいと思います。二人の共通点は、未来もしっかりと見つめていることでした。柔道整復師の資格取得に向けて勉強中の岨野さんは、将来は厚木で働きたいとのこと。石戸谷さんは、スタジアムなどに特設される起伏に富んだコースでのレースにも参戦する決意でした。そして、二人とも厚木が大好きということもうれしい共通点でした。(清水)

タウンガイド

松枝町局、市立病院、JAあつぎ本所、メジカルセンター、厚木税務署、厚木警察署、厚木合同庁舎、厚木保健福祉事務所、厚木商工会議所(消費生活センター)、厚木年金事務所、厚木南合同庁舎、厚木郵便局、文化会館、至秦野

厚木小、郷土資料館、消防本部、厚木中央公園、市役所本庁舎、第2庁舎、厚木公園、中町花の公園、本厚木駅、労働基準監督署、至平塚

横浜地方支局厚木支局、東町スポーツセンター、東町局、保健センター、総合福祉センター、歯科保健センター、バスセンター、シティプラザ、中央図書館、神奈川工科大学、厚木子ども科学館、老人福祉センター寿荘、旭局

5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
31													

マイタウンクラブ

印の番号でウェブ上からも、詳しい情報をご覧いただけます。「㊦」と記されたものは、ウェブ上から申し込みができます。
www.mytownclub.com
[携帯電話は末尾に/cpを]

市制60周年記念事業

あつぎ青春劇場 (5月)

16日=唄う！青春劇場カラオケ大会(ゲスト・浪ちひろ)。15時~16時。定員100人。500円。23日=あつぎ青春劇場落語会(出演・林家たけ平)。11時~12時30分。定員100人。500円。

いずれも会場はアミューあつぎ9階。㊦当日直接会場へ。㊧商業にぎわい課☎225-2840。

七沢自然ふれあいセンターの催し

■第1回天体観望会~土星~

6月19日、18時30分~20時30分。天体望遠鏡で星を観察。小学生以上の方40人(中学生以下は保護者同伴)。無料。㊦141919

■第1回親子で収穫体験

6月21日、9時30分~14時30分。収穫体験、野外炊事を楽しむ。市内在住の親子50人。600円(食材・保険料)。㊦141920

いずれも会場は七沢自然ふれあいセンター(七沢2440)。㊦直接、電話またはファクスに〒住所、参加者全員の氏名(ふりがな)、年齢、

電話番号を書き、6月1日までに七沢自然ふれあいセンター☎248-3500・☎248-4708へ。抽選。

スポーツなじみDAY

5月16日、10時~15時30分。荻野運動公園(中荻野1500)。気軽に楽しめるニュースポーツを紹介《種目》屋内=バウンスボール、キンボール、ドッジビー、カーレット、ビーチボール、体力チェックコーナーなど。室内履きをお持ちください。屋外=ターゲット・バードゴルフ、グラウンド・ゴルフなど(雨天時は屋内種目のみ)。無料。㊦当日直接会場へ。㊧スポーツ政策課☎225-2531。

スーパーエンジョイタイム~お庭で遊ぼう~

5月31日、10時~11時30分(雨天中止)。厚木保育所(中町1-3-3)。親子で運動遊びを楽しむ。市内在住の2歳以上の未就学児と保護者20組。無料。㊦5月25日までに子育て支援センター☎225-2922へ。抽選。㊦141889

第18回少年少女フェスティバル

5月は子どもの未来を考える「あつぎ子ども月間」

遊び道具作りを楽しみながら、親と子の絆を深めるイベントです。

《日時》5月17日 11時~16時

《会場》

あつぎ市民交流プラザ
《内容》空気砲、紙ブーメラン、万華鏡、風車、竹笛、輪ゴム鉄砲、水鉄砲、紙工房、プラトンボ、ジェット機などを作る。

《費用》無料

㊦当日直接会場へ。

㊧青少年課☎225-2580



ジュニアリーダーや青少年指導員が指導



夢中で工作する子どもたち

あつぎかけっこアカデミー 無料体験会



高野進さん

かけっこアカデミーの無料体験会を開催します。6月6日は元オリンピック選手の高野進さんが講師を務めます。

《日時》①5月23日・6月6日(全2回)

②5月30日・6月6日(全2回)

いずれも13時30分~15時

《場所》荻野運動公園(中荻野1500)

※②の5月30日は南毛利スポーツセンター(温水西1-27-1)

《対象》市内在住の小学1~3年生①②各50人

《内容》走り方の基本の動作を学ぶ

㊦ハガキ、ファクス、Eメールに講座名、参加希望日(①または②)、住所、氏名(ふりがな)、学年、電話番号を書き、5月13日(必着)までに、〒243-0039温水西1-27-1市体育協会☎248-7151・e-mail=info@atsugi-taikyo.or.jpへ。抽選。

㊧市体育協会☎247-7212



を書き、申込書とともに5月19日~22日の9時~17時に直接、予約課☎223-9370へ。

元気いきいき「物忘れ予防・脳いきいき教室」

6月4日~7月23日の木曜(全8回)、14時~16時。あつぎ市民交流プラザ。軽運動を取り入れた認知症予防教室。市内在住で65歳以上の方25人(要介護認定者を除く)。無料。㊦直接、電話またはハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、5月15日(必着)までに〒243-8511健康長寿課☎225-2388・☎221-1640へ。抽選。㊦141921

参加体験型健康教育「ザ・はかる~運動編~」

5月26日、14時~16時。総合福祉センター。体力測定と運動の講義。市内在住で65歳までの方20人。無料。㊦5月7日~22日に健康づくり課☎225-2201へ。先着順。

第34回厚木青少年音楽コンクール出場者を募集

《部門》ピアノ、バイオリン、声楽、木管、金管楽器など《日時》予選=7月5日、10時~17時。本選=7月26日、10時~16時《場所》文化会館《参加費》予選・本選各5000円。㊦文化生涯学習課や市内楽器店にある申込書に必要事項を書き、参加費を添えて6月1日(必着)までに直接または郵送で〒243-8511文化生涯学習課☎225-2508または直接、厚木楽器☎222-1019へ。

子育て支援センターの臨時職員を募集

《内容》こんにちは赤ちゃん訪問、子育て支援センター運営(子育てサロン運営、育児相談など)《対象》保健師または保育士資格を有する方若干名《勤務場所》子育て支援センター《雇用期間》6月1日~9月30日(更新あり)《勤務日時》月~金曜のうち週3日程度(土・日曜のローテーション勤務あり)。9時30分~16時30分《時給》保健師=1655円。保育士=1010円。㊦市販の履歴書に写真を



第6回 県央相模川サミット

六市町村合同グリーンキャンペーン

日時 5月17日(日) 7時30分～8時30分

会場 相模川三川合流点・旭町スポーツ広場ほか
荒天中止(当日に市ホームページでお知らせ)

相模川の美しい環境と清流を守るため、近隣の市町村(相模原市・海老名市・座間市・愛川町・清川村)と力を合わせ、それぞれの地域でグリーンキャンペーンを実施します。皆様のご参加をお願いします。



当日は相模川にアユを放流



問河川ふれあい課 ☎225-2381



第39回 厚木市 さつきまつり



市の花「さつき」が会場を彩ります。盆栽の展示や即売、ヒーローショーやみこしパレードなど、盛りだくさんの催しをお楽しみください。

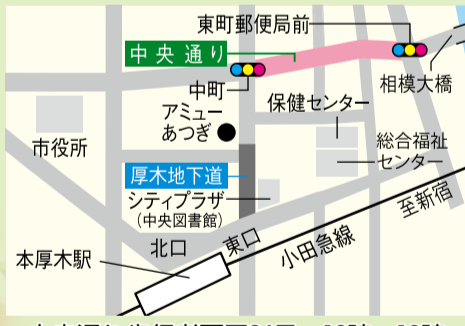
日時 5月22日(金)～24日(日) 9時～18時

会場 中央通り

- ※さつき盆栽の展示・即売
- ※市民さつき展(出展希望者は、5月15日までに公園緑地課 ☎225-2412へ)
- ※骨董市(厚木地下道)

24日のみ

- ※歩行者天国開始式/10時10分～
- ※オープニングパレード/10時30分～
- ※優良さつき盆栽の表彰式/11時～
- ※ステージ・ストリートパフォーマンス
歌謡ステージ(宮川たかし他)、みこしパレード、新極真空手模範演武、手裏剣戦隊ニンニンジャーショーなど。
- ※さつき苗無料配布(先着250人)/16時～
- ※詳しくは、市ホームページをご覧ください。



中央通り歩行者天国24日、10時～18時

問公園緑地課 ☎225-2412

つつじが 元気に咲きました! 2015

市民の手で植えられた5万2000本のツツジが会場を彩ります。ふれあい動物村など親子で楽しめるイベントも開催。ご家族そろってお越しください。

日時 5月9日(土)・10日(日) 10時～16時

会場 あつぎつつじの丘公園(森の里青山20)

内容

無料休憩所(お茶の無料サービス)、骨董市、ふれあい動物村(雨天中止)、スタンプラリー、大道芸など
来場者に絵ハガキをプレゼント

厚木バスセンター9番乗り場、または愛甲石田駅3・4番乗り場から乗車。「森の里5丁目」下車徒歩5分。



問環境みどり公社 ☎225-2774

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)相鉄エージェンシー ☎045-450-1804へ。